

エラー&トラブル時の処理マニュアル

マニュアル最終修正日:2024/01/30

エラーが発生した場合は、その都度メッセージか自動で表示（または、自動エラー報告）されます。

BGALOGは最新の「EXEと環境設定」をセットでお使いください。

エラー発生の際は自動的に当方へ情報が送られるように仕組みをしていますが、古いバージョンを使用されている場合にはすでに解決済みのエラー情報がその都度送られてくることになり、当方もその都度なぜエラーが発生しているのかチェックを行う必要があります。また、皆さんもその都度このエラー対応のメッセージが表示され煩わしいことと思います。これらの無駄な作業を省くため、最新のバージョンの「BGALOG」と「環境設定」を使用するようにご協力をお願いします。

目次ー 1

- P- 1 目次
- P- 2 注意事項
- P- 3 環境読込時のエラー対応（プログラムと環境設定のバージョン違い）
- P- 4 データベースの復旧方法（バックアップしているデータからの復旧方法）
- P- 5 不正データの補正（★★★ 重要 ★★★）
- P- 6 バージョンアップ（手動でのバージョンアップ）
- P- 7 重要不正データの「コールサイン」、「DXCC番号」、「プリフィックス」等の重要不正データの簡易チェック方法
- P- 8 DXCCリストの修復方法
- P- 9 初めて使用時の環境設定整備
- P- 10 列 'QS0no' は一意であるように制約されています。値 '2018/02/05 02:02-' は既に存在します。
- P- 11 メイン画面の項目別、注意事項
- P- 12 データ簡易不正データチェック方法（この処理でほとんどのエラーが発生しなくなります。）
- P- 13 年間DXCCエラー対応（再構築）
- P- 14 正しいプリフィックス、マネージャが表示されない
- P- 15 作業終了時のBEEP音（サウンド）が出ない場合の修正（Newのサウンドが出ない場合も同様：WIN-10 関係）
- P- 16 テルネットすべてのデータをマスターデータへ更新実施」で次のエラーがありました。
- P- 17 RTCコントロール、リグコントロール、等を変更したらBGALOGがハングアップ
例:「インデックス、主キー、またはリレーションシップで重複する値が生成されるため、テーブルを変更できませんでした。」

メイン画面 投入データが消えてしまった場合の復旧方法（メイン画面マニュアル P-81~82）

このマニュアルは追記方式で作成していますのですでに自動解決対策済または変更になっている場合がありますので了解願います。

注意：

プログラムバージョンと環境設定「KANKYOU.TXT」はその都度のバージョンでのセットで使用する必要があります。
新しくバージョンアップを行ったデータを古いバージョンで使用するとすでに削除された環境設定の項目が無い状態が発生し、結果データベースを壊してしまう可能性がありますので、古いバージョンに戻す場合は、事前に開始画面にてそのバージョンの環境設定「KANKYOU.TXT」ファイルによりデータも古いバージョンに戻す必要があります。
バージョンアップ時にはそのZIPファイル内にある「各.TXT」ファイルもBGALOGフォルダーにコピーしてください。
これを実施しないと正常にバージョンアップが行われません。
「BGAZIP.EXE (2017/06/26以降のもの)」を使用してアップデートを実施すればこの問題は発生しません

各ツール毎の機能説明

マウスの進むボタンorセンターボタン(スクロールボタン)押下でツール毎の使用説明書が表示されます。

※ 5ボタン以上の機能を持ったマウスが必要です。
右ボタン以外の「進む・戻る」ボタンにも機能を埋め込んでいる場所があります。
メイン画面、テルネット画面以外では一部ツールチップヘルプを使用しています。

その他の情報

エラー自動報告により対応策等をこのマニュアルに追記していきます。

環境読み込み時のエラー

20000050	upmanager	2017/10/10
20000050	KanMente	2017/10/06
20000070	DvceMente	2017/05/12

プログラムのバージョンと環境設定が対応していない場合に発生します。

B G A L O Gの環境設定は添付されている環境設定の設定ファイル「KANKYOU.TXT」の更新月日とチェックして環境に設定している「KanMente」の日付より新しい場合は自動的に環境設定のバージョンアップを行います。

この時、「KANKYOU.TXT」にない項目は削除し、新しい項目がある場合は追加します。

つまり、古いバージョンのプログラムを用いて新しいデータとなったLOGを使用するとすでに削除された項目が使用できないためにエラーが発生してしまいます。

半面、新しいバージョンで古いデータを使用すると新たに追加した項目が読み出せませんので同様にエラーが発生してしまいます。

自動報告エラーの例

「環境からの読込を失敗しました」の音声メッセージの後、このマニュアル表示と共にJ A 5 B G Aへ次の内容が自動送信されます。

★ 「環境設定読出し検索不可」で次のエラーがありました。（位置＝開始画面）

Ver 20170317a 2017/03/18 21:16:35 Koumoku = JtTorikomiSentaku Index=-1 ユーザー名等

この例は、新しいバージョンで新たに追加された項目「JtTorikomiSentaku」が、ないことから発生したエラーの例です。

対応策

通常の使用方法の場合は自動的に環境設定がアップデートされますが、このエラーが発生した場合に手動でも環境をアップデートできます。

- 1 最新の「KANKYOU.TXT」を「C:\BGA LOG」フォルダーへコピーしておきます。
- 2 B G A L O Gを起動して「環境設定」を開きます。
- 3 「KANKYOU.TXTで環境更新」を実施し、「終了」ボタンで完了です。



データベースの復旧方法

何らかのトラブルでデータベースが消えた場合の復旧方法

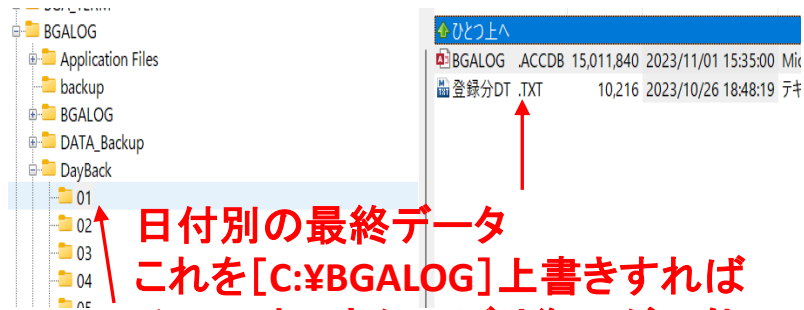
BGALOG.ACADBが壊れた場合に次の方法で復旧できます。

1 日付別バックアップデータから復旧

「C:¥BGALOG¥DayBack」には、右表の様に毎日のQSOを行った最終のデータが保存されています。

この日付別のフォルダの中に有る「BGALOG.ACADB」を「BGALOG」フォルダーに上書きコピーを実施すれば、その時点までのデータに修復が出来ます。

また、BGALOGフォルダー内の「登録分DT_Backup.TXT」に直近のQSOの登録内容が保存されていますので、その後の交信データを手動で登録すれば復旧できます。



日付別の最終データ
これを[C:¥BGALOG]上書きすれば
その日までさかのぼり復旧が可能
(QSO日には必ず保存されています)

2 フォルダーごと復旧

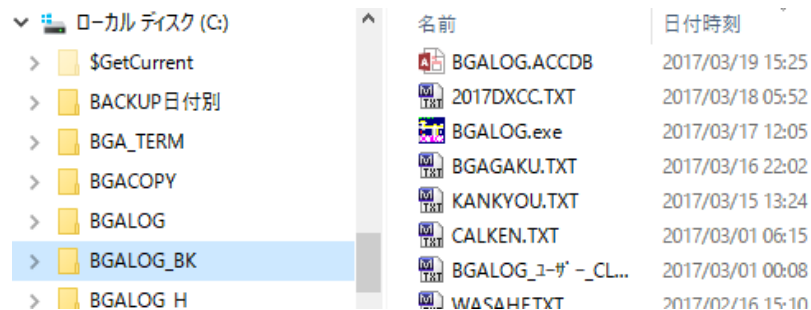
開始画面の「全バックアップ」を行った時点までのデータにフォルダーごとそっくり変更することもできます。

1 使用中の「C:¥BGALOG」を「C:¥BGALOG1」等々にリネームする。

2 「C:¥BGALOG_BK」を「C:¥BGALOG」にリネームする

3 処理が完了して不要となった「C:¥BGALOG1」は削除

※ この方法は「全バックアップ」を事前に実施していなければなりません。



全バックアップ

左の「全バックアップ」は、次の内容を実施します。

- 1 「C:¥BGALOG_BK」があれば削除します。
- 2 「C:¥BGALOG」を「C:¥BGALOG_BK」としてゴ－します。

※ 名前を変えてコピーするのみで単にフォルダー名が異なるのみです。

登録分DT_Backup.TXT (最大100件まで過去登録分を保持)

QSOを行いLOG登録時に自動で作成(又は、追加)されます。月の当初に自動的に整理されます。



不正データの補正 (★ ★ ★ 重要 ★ ★ ★)

次の各エラーチェックを実施して正しく修正することにより、データの不良によるエラーはほとんどなくなります。

ツール画面

画面表示位置設定 | メイン画面幅等設定 | メイン画面ツール | DXCC 保守・再構築 | IOTA 保守・再構築 | JCC 保守・再構築 | 各種アワード | WASA-HF

ユーティリティ | BGALOG QSOデータ 初期化 | 外部ソフトからのインポート | FTB (4) データ取込 | エクスポート | JARLアワード関係 | 不正データチェック・自動補正

★ エラーチェックを実施（データ寮に合わせて時間がかかります。終了メッセージまで他の作業を行わないでください。）
 重要度 (★=最も重要 ●=重要 ▲=要修正)
 ★ 最初にコールサインからチェックしてください。
 ※ エラーチェックと自動補正を繰り返し実施して共にエラーがなくなるまで修正してください。

エラーチェック

★ インデックス欄 (通常は非表示:エラー有で補正時に表示)	
★ コールサイン欄 (データ未記入 & 2バイト以下、英字と数字組合せ)	前後のスペース、コールサイン2バイト以下、削除 <input type="checkbox"/> □=全て削除、レ=自分で修正
★ 日付欄 (日付のパターンに一致しないものを抽出)	前後のスペースのみ自動削除
★ モード欄 (登録のモード以外を抽出)	
★ 周波数欄 (JAバンド外のを抽出、オフバンドは未チェック)	コロン、ドットーの調整
▲ RST (スペース混入、FTで記号無、RST無、モード ⇄ RST整合性チェック)	スペース削除、FTで記号無、RST無、モード ⇄ RST整合性チェック
★ プリフィックス欄 (記号、未記入チェックのみでプリフィックスの正当性は未チェック)	⇄ [/MM] は表示されますが、無視してください。
★ DXCC番号欄 (3桁数字、[---]以外を検索)	QSL欄修正 変換前 <input type="text"/> ⇒ 返還後 <input type="checkbox"/> □=スペース、レ=R
● カード受領欄 (スペース(NoQSL)、R 以外を抽出)	LOTWR欄 (日付有⇒R) 他変換前 <input type="text"/> ⇒ 返還後 <input type="checkbox"/> □=スペース、レ=R
● LoTW受領欄 (先頭の1文字目が「スペース」、「R」以外を抽出)	

右側ボタンは自動補正（手動での修正方法：4）
 (右のテキスト欄の該当局クリック ⇒ メイン画面で直接修正)

左側のボタンはチェックのみですので手動で訂正が必要です。
 右側のボタンは自動で修正を行います。

バージョンアップ

BGALOGは最新のものをお使いください。

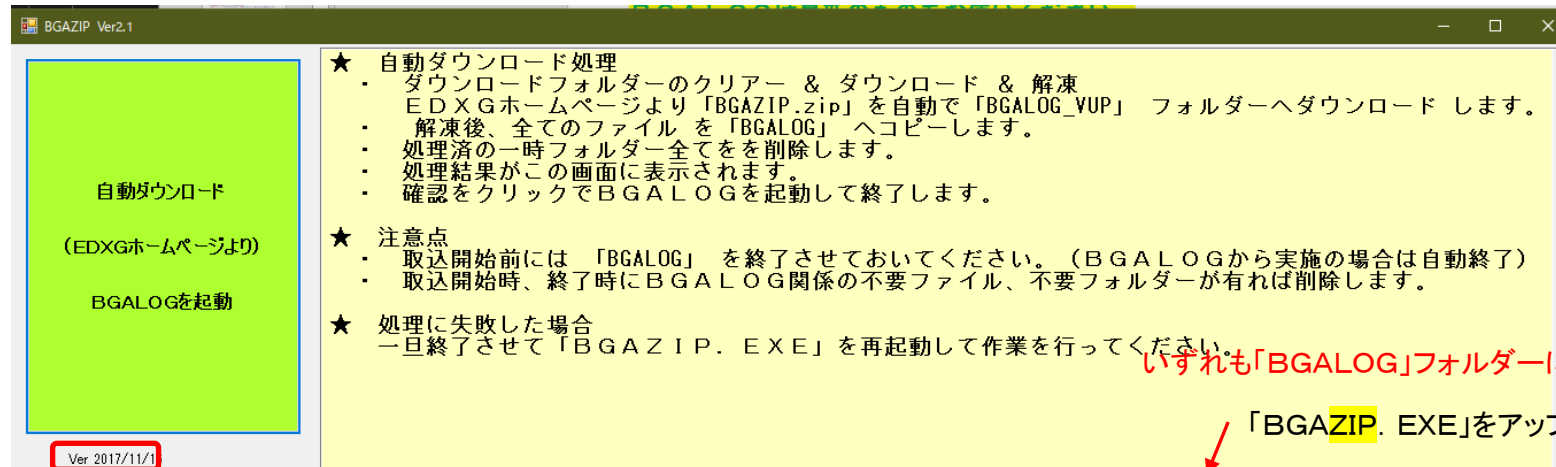
注意：プログラムバージョンと環境設定「KANKYOU.TXT」はその都度のバージョンでのセットで使用する必要があります。
新しくバージョンアップを行ったデータを古いバージョンで使用するとすでに削除された環境設定の項目が無い状態が発生し、結果データベースを壊してしまう可能性がありますので、古いバージョンに戻す場合は、事前に開始画面にてそのバージョンの環境設定「KANKYOU.TXT」ファイルによりデータも古いバージョンに戻す必要があります。

バージョンアップ時にはそのZIPファイル内にある「各.TXT」ファイルもBGALOGフォルダーにコピーしてください。これを実施しないと正常にバージョンアップが行われません。

BGAGIPによる手動アップデート方法 手動で実施する方法

- ・ 右の [Ver アップ] をクリックでアップデートします。

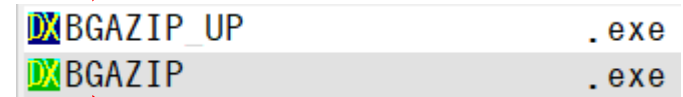
次の画面が



バージョンは2017/06/26以降のものを使用してください。

いずれも「BGALOG」フォルダーに入れておいてください。

「BGAZIP.EXE」をアップデートします。



「BGALOG.EXE」をアップデートします。



ウインドウによるこのような画面が表示された場合は、「詳細情報」をクリックしてから実行をしてください。

重要不正データの有無の簡易チェック方法

次の重要項目が未記入等の場合は各種検索時やテルネット処理中にデータ不正のために「**検索できない**」、「**ハングアップ**」につながるエラーを引き起こします。

「**コールサイン**」、「**日付・時間**」、「**モード**」、「**周波数**」、「**プリフィックス**」、「**DXCC番号**」

簡易チェック方法

★ 「**項目欄の文字**」をクリック (例はDXCC番号クリック時)

項目欄の文字をクリックするとその都度、昇順・降順にソートされますので、その中で空白欄や不正な文字を見つけましたら修正してください。下記の例では「HRS」が未記入となっています。

検索			元データ		備考1検索				マルチ行		備考2検索			マルチ行	
QRZ.CO	HAMQTH	IK3QAR													
↑	コールサイン	日付 時間	モード	周波数	HRS	MRS	プリフィ...	DX...	名前等	住所	マネージャ	P			
▶	VE7CML	1979/09/30 04:56	SSB	21.		59	VE	001	GREG	CANADA					
	VE3UOT	1979/10/27 01:55	SSB	21.	59	59	VE	001		CANADA					
	VE7VX	1980/03/01 05:14	SSB	14.	59	59	VE	001							
	VE1DXA	1980/03/01 07:27	SSB	14.	59	59	VE	001							

全ての項目行で
昇順・降順ソート可能

その他のチェック

★ 「**ヌル**」をチェック

メイン画面マニュアルのP-24 検索が出来ない、ヌル補正の必要性を参考にしてください。

データを登録しているのに検索が出来ない場合があります。原因は、「**ヌル**」状態となっているために検索出来なくなっているためです。

また、最悪時はハングアップにつながります。

環境設定	LOTW等 DB処理	複合検索	オプション・その他	マニア
メンテナンス & その他				
ヌル補正実施		HAMLOG、DXCC、JCC、IOTA、学習 マネージャ、環境、内のヌルを修正します。 テルネットについてはテルネット画面内のツールにあります。		

DXCCリストの修復方法 (実施はUSB等にバックアップ後に行ってください。)

1 DXCCリスト内の交信記録が削除されてしまった場合に古いデータベースからコピーをする方法
マイクロソフトアクセスにより最新の壊れたデータを開き「HAMCAN」を削除し、
古い破損前の「HAMCAN」をコピーする。

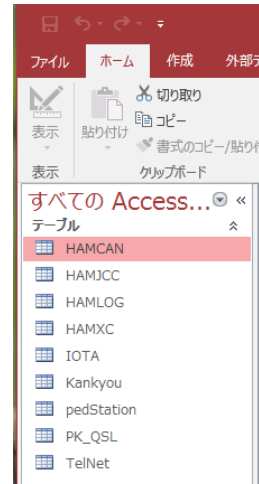
2 登録済のデータのDXCC番号により修復する方法 (実施時の各コメント等を確認してください)

(1) 最新の「DXCCLIST.TXT」ファイルにより「①のメンテナンスを実施」
BGALOG_VUP内に最新の「DXCCLIST.TXT」が含まれており、通常は自動で
更新されます。

(2) 「④ DXCCカントリーリストの再構築」を実施
次の内容が実施されます。

作業内容

- ・ スル補正
- ・ すべての交信データを削除（コールサイン、T、Rの更新内容の記号を削除）
- ・ 登録している業務日誌のデータにより（コールサイン、T、Rの更新内容の記号を登録）
※ コールサインについては、先にヒットしたものが登録されます。

A screenshot of the 'Option Setting Screen' (オプション設定画面) in the software. The 'DXCC Option' (DXCCオプション) tab is selected and highlighted with a red box. The screen displays two columns of instructions. The left column (green background) contains steps 1 and 2, and the right column (blue background) contains step 4. Step 4 is also highlighted with a red box. The instructions describe the process of restoring the DXCC list and rebuilding the country list.

オプション設定画面

メイン動作オプション 画面位置設定 メイン画面メンテナンス GSLカード画面オプション IOTAオプション **DXCCオプション** 読売アワード JARL30周年記念

WASA-HF 外部ソフトからのインポート

① DXCCLIST.TXTファイルによりメンテナンス

② DXCC番号によりQSOデータのプリフィックスを修正
※ マスターDBとの整合に数分～数十分を要します。
「全て終了」のメッセージまでお待ちください。

④ DXCCカントリーリストを再構築
全登録済業務日誌のDXCC番号に基づき実施

作業内容
(1) スル補正
(2) DXCCリストを初期化(データ部分の削除)
(3) 登録業務日誌のDXCC番号よりDXCCリストを再構築
※ 処理に数分～数十分を要します。

初めて使用時の環境設定整備

初めて使用した場合は、環境設定とプログラムが不一致となりエラーが発生する場合があります。

① サンプルデータであっても次を必ず正しく修正してください。

修正を行わない場合は不正使用を避けるためBGA LOGは正しく動作しません。

```
Call_Sign   JA5BGA
Name_jp     鈴木  信一
Name_dx     Shinichi Suzuki
CW_Name     SHIN
CW_Qth      IYO CITY
Tel         089-983-3434
email       ja5bga@dokidoki.ne.jp
Qth_jp      799-3111 愛媛県伊予市下吾川1543-3
Qth_dx      1543-3 Simoagawa Iyo-City Ehime 799-3111
```

② バージョンアップの実施

新規ユーザー用のZIPファイルは時々しかアップしていません。

そのために環境設定とプログラムが不一致となりエラーが発生する場合があります。

最初に①②を実施してから使用してください。

サンプルで容量を掴んだ後、初期化実施または初期化済データ（この場合は再度①を実施）で本格使用をして下さい。

別のソフト等で使用していたデータがある場合や不明な場合はメール等にて相談ください。

列 ‘*****’ は一意であるように制約されています。
値 18/02/08 14:09:39 0 ‘ は既に存在します。

このページの外、5 ページの不正データの補正を実施してください。

- ① インデックス部分での重複エラーが発生しています。
何らかの原因でインデックス部分のエラーが発生しています。
修正を行わない場合はその後データが追加できないなどエラーが発生して書き込みが出来なくなります。

メイン画面の場合（テルネットはオプションから）

1 上ボタン「↑」クリックまたはオプション画面からインデックス部分を表示します。

QRZ.CO	HAMQTH	IK3QAR	
↑	コールサイン	日付 時間	
▶	5W0LR	2018/02/08 05:09	

2 インデックス欄から値と同じデータを探します。
バージョンによりフォーマットが異なります。

QRZ.CO	HAMQTH	IK3QAR	
↓	インデックス No	コールサイン	日付
▶	18/02/08 14:09:39 0	5W0LR	2018/02/
	18/02/08 00:52:44 0	D68T	2018/02/

3 その最後部分を次の様に秒以下を適宜変更して終了
値 18/02/08 14:09:39 0

値 18/02/08 14:09:39123

※ 修正を行う行が不正データや不要データの場合は、その行を削除してください。

4 上ボタン「↓」クリックまたはオプション画面で終了

この場所は単に「唯一無二」である必要がありますが、BGA LOG内では検索等には無関係な場所です。最新のバージョンでは通常は投入する日付の秒の下に3桁の数字を埋め込んで作成するようにしています。

その他のオプション

インデックス欄 ⇒ 非表示 (ダブルスイッチ)

インデックス	V	P	周波数
18/02/08 15:24:57 31			14.027.1
18/02/08 15:24:37 30			7.110.0

メイン画面の項目別、注意事項

* =プログラム上の最重要項目、* =重要事項

一般的注意事項、「半角の記号は極力使用不可」プログラムと混同した動作をし、検索不可が発生の可能性有り:例["#\$%&' *等]

項目	注意事項等	最大文字数
インデックス *	同一文字は不可:投入できずその後修正まで次の作業が出来なくなる(通常非表示で自動処理)	20
コールサイン *	空白(未記入)は不可:各種原因不明のエラーが発生	20
モード *	空白(未記入)を含めプルダウンメニュー以外のモード入力は不可、DXCCリストへ影響	6
周波数 *	空白(未記入)を含めMhzにドット(.)が必要、DXCCリストへ影響(正しい記入例:14.123.4、最短記入:14.)	10
相手RST	プログラム動作には影響無し、「カード、LOTW」等の授受に不一致が発生	4
自局RST	プログラム動作には影響無し、「カード、LOTW」等の授受に不一致が発生	4
プリフィックス *	正しいDXCCリストの処理が不可、検索時等の実行時に処理不能の為原因不明なエラーが発生	15
DXCC番号 *	正しいDXCCリストの処理が不可、検索時等の実行時に処理不能の為原因不明なエラーが発生	3
名前等	プログラム動作には影響無し、検索時に抽出できなくなる	30
マネージャ *	プログラム動作には影響無し、検索時に抽出できなくなる、カードの無駄	(13)15
住所等	自由に記載可能	60
ペディション等	自由に記載可能	1
ゾーン	プログラム動作には影響無し、検索時に検索不可	5
カード発送	自由に記載可能(/TJD等)、ただし半角スペースについては未発行	5
カード受領 *	「R」「スペース」以外は記入不可、DXCC整理がNG	5
LoTW送受 *	「スペース」または先頭の1文字は「R」以外は不可(記入例例:[R 2018.....]、or [R]の未記入)	15
eQSL	プログラム動作には影響無し、eQSL送受の記録のみ	
JCC等 *	住所以外に転用可、転用する場合はJCCと等しい番号の使用は不可(住所等が自動で書き込まれる)	(8)15
備考1、備考2	自由に記載可能(備考1:一覧表示をさせたいものを記入、備考2その項目にあてた場合に多くを表示)	245
IOTA *	IOTAリスト、画像表示と連携	

メイン画面の項目別、注意事項-2

項目	注意事項等	最大文字数
グリットロケータ	プログラム動作には影響無し、検索時に検索不可 (GL使用時は4バイト、6バイトに注意)	(4、6)10
Photo (Q欄)	画像有りは (F:DX、J:JA) のみ記入、プログラム動作には影響無し、画像が表示出来なくなる	10
相手、自局、移動	住所以外に転用可能、転用すると印刷時に指定できない	相30、自20
PREソート*	プログラムには影響無し、印刷時にソート、マネージャの設定実施 (印刷直前に実施が必要)	20
無線機	プログラムには影響無し、印刷時に利用される	20
出力・入力	プログラムには影響無し、印刷時に利用される	10
DX申請	プログラムには影響無し、検索時に検索出来なくなる (各種申請用に各自が記号を決めて登録します)	20
YOBI1	未使用非表示 (予備)	20
YOBI2	未使用非表示 (予備)	20

データ簡易不正データチェック方法

各ボタンをクリックしてチェックして修正をしてください。

ツール画面

画面表示位置設定 | メイン画面幅等設定 | メイン画面ツール | DXCC 保守・再構築 | IOTA 保守・再構築 | JCC 保守・再構築 | 各種アワード | WASA-HF

ユーティリティ | BGALOG QSOデータ 初期化 | 外部ソフトからのインポート | FTB (4) データ取込 | エクスポート | JARLアワード関係 | 不正データチェック・自動補正

★ エラーチェックを実施 (データ寮に合わせて時間がかかります。終了メッセージまで他の作業を行わないでください。)
 重要度 (★=最も重要 ●=重要 ▲=要修正)
 ★ 最初にコールサインからチェックしてください。
 ※ エラーチェックと自動補正を繰り返し実施して共にエラーがなくなるまで修正してください。

エラーチェック

- ★ インデックス欄 (通常は非表示:エラー有で補正時に表示)
- ★ コールサイン欄 (データ未記入 & 2バイト以下、英字と数字組合せ)
- ★ 日付欄 (日付のパターンに一致しないものを抽出)
- ★ モード欄 (登録のモード以外を抽出)
- ★ 周波数欄 (JAバンド外のを抽出、オフバンドは未チェック)
- ▲ RST (スペース混入、FTで記号無、RST無、モード ⇔ RST整合性チェック)
- ★ プリフィックス欄 (記号、未記入チェックのみでプリフィックスの正当性は未チェック)
- ★ DXCC番号欄 (3桁数字、[-]以外を検索)
- カド受領欄 (スペース(NoQSL)、R 以外を抽出)
- LoTW受領欄 (先頭の1文字目が「スペース」、「R」以外を抽出)

右側ボタンは自動補正 (手動での修正方法:4)
 (右のテキスト欄の該当局クリック → メイン画面で直接修正)

前後のスペース、コールサイン2バイト以下、削除 〇=全て削除、レ=自分で修正

前後のスペースのみ自動削除

コン、ドットーの調整

スペース削除、FTで記号無、RST無、モード ⇔ RST整合性チェック

⇔ [/MM] は表示されますが、無視してください。

QSL欄修正 変換前 ⇒ 返還後 〇=スペース、レ=R

LoTW欄 (日付有⇒R) 他変換前 ⇒ 返還後 〇=スペース、レ=R

次の通り不正データが見つかりましたので修正してください。
 修正したい行の先頭から日付までの間をクリックしてください。
 対象のデータがメイン画面に表示されます。

[FAX]	[JA5GJM]	1987/03/08	11:53
[IBOL]	[JA5DMI]	1986/10/29	10:00
[IBOL]	[JR5XNY]	1986/10/29	04:00

クリックでそのデータを表示します。
 表示場所はメイン画面です。

年間DXCCエラー対応（再構築）

FT8と年間DXCCは同一ファイルを使用しています。
このファイルが壊れたり一部を削除するとFT8や
年間DXCC登録時にハングアップしてしまいます。

修復方法は
次の画面の①～④のボタンを順にクリックして修
復してください。

クリックで年間DXCC画面が表示が代わります

年間DXCC (再構築)
業務日誌から更新
年変更時、矛盾発生
時等に実施

④

③ FT8 リフレッシュ

① 全データ完全削除 (削除後は②で構築)

B G A LOG (Big Game Adventure Logbook) ★★★ テル ネット 画面 ★★★ (Ver 20181019a) (テルネット接続先 = bld.dxscape.com:8000)

DXCCNo	PRE	MDX	CW	Phone	Digital	1.	3.	7.	10.	14.	18.	21.	24.	28.	50.	Entity
246	1A															SOV MILITARY ORDER OF MAL
247	1S	T	T		T					T						SPRATLY IS.
260	3A															MONACO
004	3B6															AGALEGA & ST BRANDON IS.
165	3B8	R	R		R						R	R				MAURITIUS IS.
207	3B9	R			R						R					RODRIGUEZ IS.
049	3C	R	R							R						EQUATORIAL GUINEA
195	3C0	R	R							R						ANNOBON IS.
176	3D2	T	T		T						T		T			FIGI IS.
489	3D2C															CONWAY REEF
460	3D2R	R	R							R		R		R		ROTUMA
468	3DA															SWAZILAND
474	3V															TUNISIA
293	3W	R	T	T	R						T	T			R	VIET NAM
107	3X															GUINEA
199	3Y0P															PETER 1 IS.
024	3YB															BOUVET IS.
018	4J	R			R	R		R	R	R						AZERBAIJAN
075	4L	R			R						T	R				GEORGIA

表示年 2018 MDX 167 160m 28
CW 39 80m 1
SSB 18 40m 83
Digital 149 30m 87
20m 115
17m 109
15m 43
12m 15
10m 9
6m 30
チャレンジ計 520

④ 年間DXCC (再構築)
業務日誌から更新
年変更時、矛盾発生
時等に実施

③ FT8 リフレッシュ

① 全データ完全削除 (削除後は②で構築)

正しいプリフィックスやマネージャが表示されない

管理 ④ 学習管理 D

★ 注意 ★ この画面表示中はこの画面の状態を安定化するため
★★ 「テルネット」取込を一時的に中止しています。 ★★

★ 学習ファイル更新

- 1 取込 = 「BGAGAKUSYU.TXT」をNWから取込
- 2 削除 = 登録しているデータを削除
- 3 追加登録 = 「BGAGAKUSYU.TXT」により新規に追加登録
- ※ 登録の都度レポートが報告されると、更新しアップロード
NWに登録の「BGAGAKUSYU.TXT」から自動or直接更新可

★ 学習DB追加登録

- 下のテキストボックスを正しい内容に整備
- ※ 返還前プリフィックスは重複投入は不可

★ プリフィックスが正しく変換できなかった場合 ★

- ①「学習ファイル更」、②「学習DB追加登録」の順に実施してください。

各ボタンにマウスを当てるとヘルプが表示されます。

返還前プリフィックス		① 検索	ワーク欄から取込	特別局へコピー
変換先プリフィックス	DL	② 検索	ワーク欄からコピー	★ 最新学習ファイル NWから取り込み更新 上の説明文参照
DXCC番号	230	③ 検索		
特別局		④ 検索	エクスポート (BGA用)	マニュアル

これをクリックしてください

⑥ マネージャ管理 ⑦ LOTW等DB処理 ⑧ 複合検索 & 書換

実行削除

登録

0 / 10 / 10

NWから直接マネージャファイル更新

クリア

追加登録

DX局検索





作業終了時のBEEP音（サウンド）が出ない場合の修正

次の場所に[Windows Ding. wav]の有無を確認してください。

無い場合はEDXGホームページから[KANKEI. ZIP]をダウンロード・解答し、その中にある[Windows Ding. wav]ファイルを次のフォルダーへコピーしてください。

C:\¥Windows¥Media¥Windows Ding. wav



BGA LOG New Version Check		INSTANT.PPT	11-Nov-2020 21:00	2.0m
BGA LOG QSL マネージャ		JARL-EHIME.pdf	06-Sep-2019 11:17	11.3M
BGA LOG マニュアル		KANKEI.zip	06-Feb-2021 18:50	9.4M
		RSYUCHI.TXT	17-Nov-2020 23:30	559k
		USA-CA.zip	19-May-2021 18:08	87k

★ 「テルネットすべてのデータをマスターデータへ更新実施」で次のエラーがありました。

「インデックス、主キー、またはリレーションシップで重複する値が生成されるため、テーブルを変更できませんでした。」重複する値のあるフィールドの値を変更するか、インデックスを次により削除してください。または重複する値を使用できるように再定義してください。

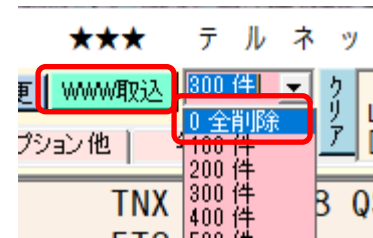
発生の原因

インデックス（唯一無二）が重複して登録できない状況となっています。

日時+適宜な数字でインデックスが作成されますが、偶然にもすでに登録済のものと同じ数字が発生すると登録ができなくなります。

対処方法

[0 全削除] を実施して [WWW取込] をクリックしてください。
これで解決しない場合は、[0 全削除] 後にBGALOGを再起動してください。



Accessによるデータベース破損修復 (Microsoft アクセスをインストールしている方)

[BGALOG.ACCDB] をダブルクリックして次により実施してください。

コンテンツを有効化します

この作業実施により現在までの削除済でデリートマーク付きのデータが完全に削除されるためにデータベースがコンパクトになり各種検索も早くなります。
(停電等によるデータ破損を含む)

参考 : 実施前の容量

BGALOG .ACCDB 16,060,416

実施後の容量

BGALOG .ACCDB 14,962,688

B G A L O Gがハングアップして使用できない

B G A L O Gでコントロールできないハード部分に不具合が発生するとWindowsによりB G A L O Gシステムを強制的にシャットダウンさせられます。

その可能性が有る場所は次の通りです。

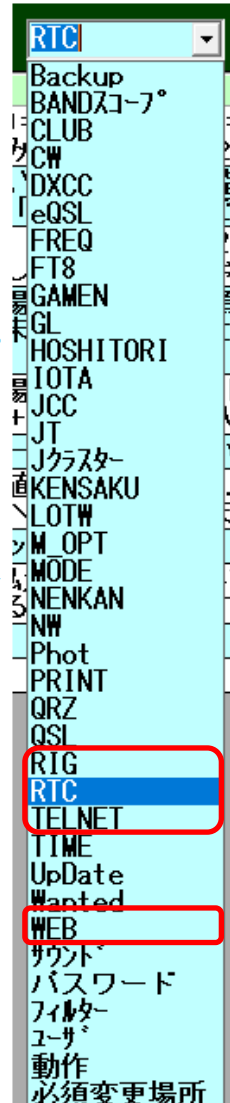
- ・ コムポートの設定が正しくない場合
R T C設定ミス、リグコントロール設定ミス、NW接続先のシステムエラー
- ・ N E Tワークの不具合
NW接続先のシステムエラー
NW接続先設定ミス

これらが発生した場合は環境設定を直接修正してください。

開始画面の環境設定から修正できます。



ハングアップする関係が大きい場所



修正方法が不明な場合はメール、電話等で連絡ください。